

## 「カラーガイド用マゼンタ・ピンク」の 変色・ブリードについて

貴社益々ご清栄の段お慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、掲題の件につきまして、下記の通りご報告致します。

### 【記】

#### <ブリードの発生について>

弊社「カラーガイド用マゼンタ・ピンク」は色相が綺麗との理由で、長年ご愛顧頂いておりますが、このインキは一般に「ローダミン」と呼ばれる、耐水性・耐薬品性（耐アルコール性、耐溶剤性、耐石鹼性、耐酸性、耐アルカリ性など）が極端に弱い顔料を使用しているため、「**変色・ブリード現象**」を発生しやすく、仕事の内容によっては使用を避けなければならない場合があります。

特に油性OPニス以外の表面加工（UVニスや水性ニス、フィルム貼り等）は、ニス・接着剤に含まれる成分により、加工を施した際にブリード発生の要因となります。

（加工時に発生していなくても、保管中に徐々に進行し、**変色・ブリードが発生する場合があります**）

また、印刷物の表面に直接、溶剤や接着剤等が付着しない場合でも、長期保管時に空気中の水分等の影響（水分や溶剤などが気体状態で接触）でブリードが進行し、極端な場合はブリードが裏面まで到達します。（特に**高温度・高湿度条件では、急速にブリードが進行致します**）

従いまして、標記インキ単品または他インキとの混合品を使用する場合、表面加工の有無と合わせて、印刷物の使用・保管環境を事前に十分に確認する必要があります。

なお、この変色・ブリードはインキ盛り量が多く乾燥が不十分である場合、より発生し易い傾向があり、印刷用紙によっても変色・ブリードの程度に違いがあります。

#### <ブリードの防止・対策について>

水性ニス塗工などの保護効果塗膜にはピンホールが存在し、完全に印刷表面を覆うことは困難であるため、完全な耐水性・耐薬品性効果は期待できません。むしろ、ニス成分中の溶剤・水分などによって、変色・ブリード現象を誘発する可能性があります。

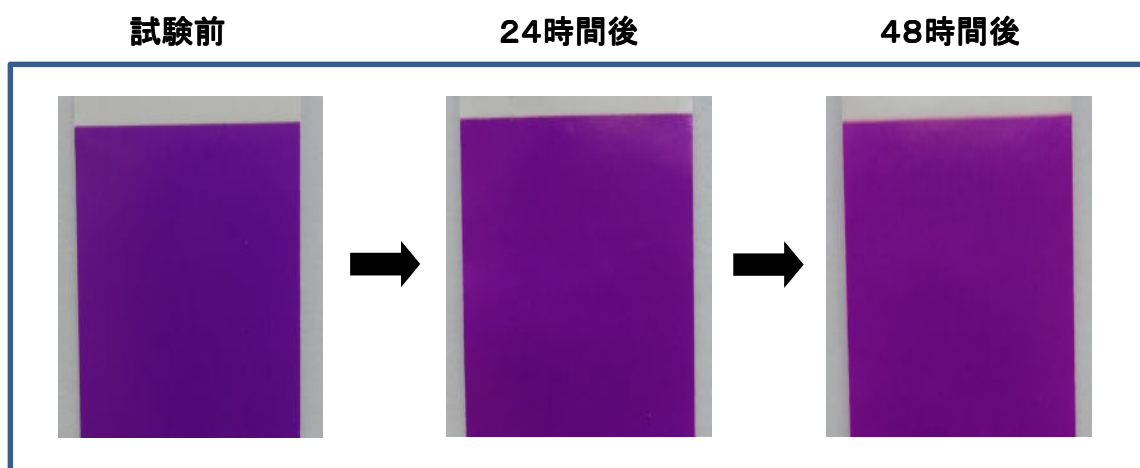
従いまして、後加工時の溶剤との接触や保管時の高温度・高湿度、長期保存等が予想される場合は、ブリード・変色防止のため、耐性の良好な「カルトンセルフ VE **耐性 701 牡丹**」、「カルトンセルフ VE **耐性 607 紫**」をご使用下さい。

なお、「カルトンセルフ VE 耐性シリーズ」をご使用の際は、事前に色相を十分にご確認いただきますようお願い申し上げます。

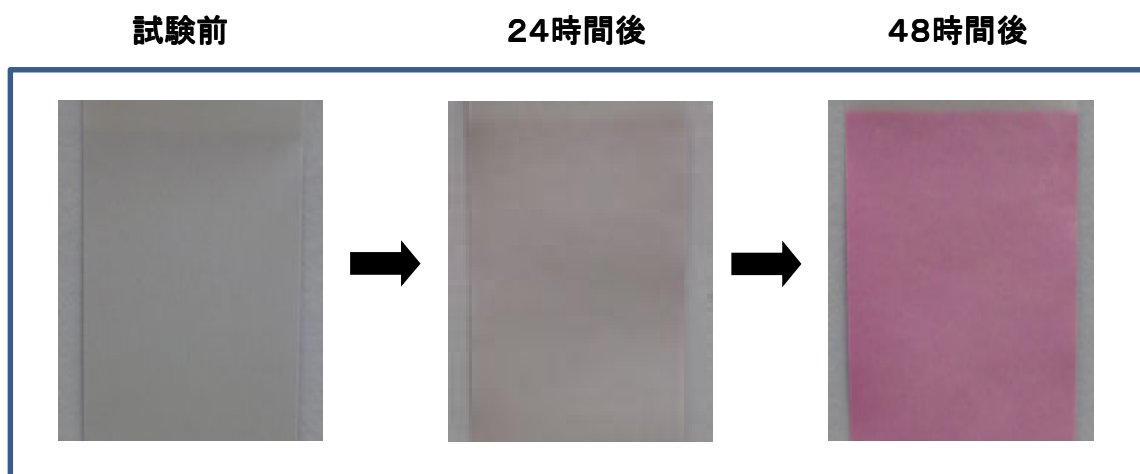
## ○温度・湿度による印刷面変色と裏面へのブリード促進試験

(試験条件：45℃・95%以上、24・48時間、使用インキ：カラーガイド用マゼンタ)

### ①印刷面の変色



### ②裏面へのブリード



→ 印刷面は赤味に変色、裏面（白紙）が赤味に着色されます。

以上

本資料は、弊社内試験及び信頼し得ると思われるデータによるものでありますが、ご参考までに掲げた一例に過ぎません。需要家各位におかれては充分ご検討の上ご利用下さいますようお願い致します。  
被印刷物へのインキの密着は表面加工の有無、基材や表面状態により異なります。予め確認の為の予備試験を行ってください。特に、UVインキの場合、インキの盛り過ぎは硬化不良・密着不良の原因となりますので、充分にご注意下さい。